

きのくに短歌の祭典 開催要項

1 サブテーマ

うたをよむ うたをあじわう～ときめき・いろどり・これから～

2 趣旨

いにしえの時代から現代に至るまで広く国民に親しまれ、また和歌山県においても万葉の時代から作られてきた「短歌」を、老若男女を問わず楽しめる文芸として普及することを目的に、開催します。

3 日時

- (1) きのくに短歌の祭典（入賞者の発表、トークショーなど）
令和3年11月13日（土）13時～16時（予定）
- (2) 短歌創作ワークショップ
令和3年11月13日（土）10時～12時（予定）
- (3) 短歌入賞作品展示
令和3年11月10日（水）～11月14日（日）9時～17時（予定）
- (4) 吟行バスツアー
令和3年11月14日（日）10時～15時（予定）

4 会場

- (1) きのくに短歌の祭典
和歌山県民文化会館小ホール
[客席数] 328席（固定席324席 車椅子席4席）
[駐車場] 有料476台（うち身体障害者専用6台）
[所在地] 〒640-8269 和歌山市小松原通一丁目1番地
[電話] 073-436-1331
[FAX] 073-436-1335
- (2) 短歌創作ワークショップ
和歌山県民文化会館 会議室
- (3) 短歌入賞作品展示
和歌山県民文化会館 特設展示室
- (4) 吟行バスツアー
万葉集ゆかりの地(紀三井寺、和歌浦、加太)である和歌山市内を巡るツアー

5 入場料

無料 ※吟行バスツアーについては昼食付で参加費（3,000円）が必要です。

6 主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会 和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山市実行委員会

7 事業内容

(1) きのくに短歌の祭典

入賞者の発表

「ときめき・いろどり・これから」の3つのテーマで表現された短歌作品の募集を行い、「きのくに短歌の祭典」において、入賞者の発表及び作品披露、並びに、入選作品の講評を行います。

トークショー「ときめき・いろどり・これから」

「きのくに短歌の祭典」のメインイベントとして、3名の講師をお迎えし、「ときめき・いろどり・これから」の3つのテーマごとに選んだそれぞれの短歌について語る、トークショーを行います。

(2) 短歌創作ワークショップ

(1)に先立ち、一般の部（大学生を含む。）と学校の部（中学生・高校生）に分けて、歌人を講師とした短歌創作ワークショップを行います。

(3) 短歌入賞作品展示

和歌山県民文化会館特設展示室で入賞作品の展示を行います。展示物は、高等学校書道部の生徒が作成します。

(4) 吟行バスツアーで巡る万葉ゆかりの地

万葉集ゆかりの地（紀三井寺、和歌浦、加太）である和歌山市内を巡りながら、吟行し、短歌会に臨むバスツアーを行います。

8 募集について

全国から短歌作品を募集します（別紙「募集要項」のとおり）。

9 応募受付期間

令和3年4月1日（木）～令和3年6月30日（水）

10 賞(予定)

- ①文部科学大臣賞
- ②国民文化祭実行委員会会長賞
- ③和歌山県知事賞
- ④和歌山県議会議長賞
- ⑤和歌山県教育委員会教育長賞
- ⑥和歌山市長賞
- ⑦和歌山市議会議長賞
- ⑧和歌山市教育委員会教育長賞
- ⑨日本歌人クラブ賞
- ⑩現代歌人協会賞
- ⑪和歌山県歌人クラブ賞

11 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場制限、内容の変更、公演等の中止を行う場合があります。

- (2) 短歌応募用紙に記載された個人情報、本事業以外の目的では使用しません。ただし、受賞等が決定された方については、写真や名前等がプログラム、大会記録等に掲載される場合があります。また、大会の様子について主催者の許可を受けた組織や事業者が撮影した写真やビデオ等が公開される場合があります。

12 問い合わせ先

- 和歌山県歌人クラブ 「きのくに短歌の祭典」 実行委員会 事務局

〒640-1175 和歌山県海南市沖野々495-1 藤田直子

TEL 073-487-1831

E-mail naofuji1018@gmail.com

- 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山市実行委員会事務局

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地（和歌山市文化スポーツ部文化振興課内）

TEL 073-435-1194

FAX 073-435-1294

E-mail bunkashinko@city.wakayama.lg.jp